

高校3年生で英検準1級合格を目指そう

—英語検定で希望大学合格を—

開倫塾

塾長 林 明夫

Q 1 : 英検と大学入試は関係があるのですか。

A : (林明夫: 以下省略)はい、あります。毎年1月に行われる大学入試センター試験の英語の配点は250点ですが、英検(実用英語技能検定)準1級合格者は試験が免除されて250点満点が配点されるからです。今や英検は大学入試そのものといえます。

Q 2 : 早めに英検準1級に合格して大学入試センター試験の英語が250点満点になると、ほかの受験科目が学習できてよいですね。

A : (1)その通りです。大学入試センター試験の英語でよい点数を取って希望大学に合格するために、高2生の2学期から高3生の1月まで毎日、何時間も英語の学習をする受験生が大半です。入試直前になると4~5時間以上も英語に取り組む人も多いようです。

(2)高2生のうちに、または、高3生の1学期のうちに英検準1級に合格すれば、大学入試センター試験の英語は250点満点となりますので、英語の学習は各大学の2次試験対策だけとなります。英語の学習時間を大幅に減らし、ほかの受験科目に学習時間を回すことができますので、英検準1級合格は受験に極めて有利と断言できます。

Q 3 : 英検準1級合格のメリットはほかにありますか。

A : (1)高校を卒業したあとに進学する大学・短期大学・専門学校や大学を卒業したあとに進学する大学院に入学すると、英語による各教科の授業がたくさんありますが、英検準1級合格者は学習がスムーズに進みます。海外留学にも対応できます。

(2)英検準1級合格者は、就職活動でも有利です。仕事や社会的活動、人生においても、英検準1級に合格できただけの英語によるコミュニケーション力は役に立ちます。

(3)英検準1級は高校生のうち合格するとメリットだらけです。

(4)英検準1級に合格してからTOEIC(トイック)やTOEFL(トーフル)の学習をすると高い得点が出ます。

Q 4 : では、どのようにして英検準 1 級に挑戦したらよいのでしょうか。

- A : (1) 早めに英検 2 級合格を果たすことです。高 2 生、おそくとも高 3 生の 1 学期のうちに英検準 1 級合格を果たすためには、できれば高 1 生、おそくとも高 2 生の 1 学期のうちに英検 2 級合格を果たしておくことです。
- (2) 高 1 生、おそくとも高 2 生の 1 学期のうちに英検 2 級に合格するためには、できれば中 3 生、おそくとも高 1 生の 1 学期のうちに英検準 2 級合格を果たしておくことです。
- (3) 中 3 生、おそくとも高 1 生の 1 学期のうちに英検準 2 級に合格するためには、できれば中 2 生、おそくとも中 3 生の 1 学期のうちに英検 3 級合格を果たしておくことです。
- (4) 中 2 生または中 3 生の 1 学期のうちに英検 3 級に合格するためには、中 1 生または中 2 生の 1 学期のうちに英検 4 級合格を果たしておくことです。
- (5) 中 1 生または中 2 生の 1 学期のうちに英検 4 級に合格するためには、小 6 生または中 1 生の 1 学期のうちに英検 5 級合格を果たすことが望まれます。

(6) 英語は語学ですので、一步一步の積み重ねが大事です。英検準 1 級合格を果たしたいのなら 2 級合格を、2 級合格を果たしたいのなら準 2 級合格を、準 2 級合格を果たしたいのなら 3 級合格を、3 級合格を果たしたいのなら 4 級合格を、4 級合格を果たしたいのなら 5 級合格を果たすこと。1 級ずつ級を重ねた学習が求められます。

Q 5 : 英検を活用して英語のコミュニケーション能力を確実に身に着けるためには、どのように学習したらよいのですか。

- A : (1) すべての級に取り組むときには、英語を「読む(Reading リーディング)」と「聞く(Listening リスニング)」だけでなく、「話す(Speaking スピーキング)」と「書く(Writing ライティング)」を加えた 4 つの技能(4 技能)を万遍なく身に着ける・「定着」させることを心掛けましょう。
- (2) 具体的には、英検のテキストや問題集を学習していてわからない「単語」や「語句」があったら、おっくうがらないで必ず「英和辞書」を引いて調べること。そして、その意味を「英単語・語句ノート」に書き写し、その日に学習した「単語」と「語句」はその日のうちに「音読練習」と「書き取り練習」をして確実に身に着けることです。さらに、そのノートを毎日 1 ページ目から「音読練習」と「書き取り練習」をしてすべて覚え切ることです。このようにして、「英単語・語句ノート」を用いて毎日コツコツと「単語の数を増やすこと、語句の数を増やすこと」。これが英検合格の第一歩です。すべての級の学習で確実に実行してくださいね。
- (3) 英検準 2 級ぐらいになったら、「英和辞典」と併行して、英語で英語の意味が書いてある

をメインに「英和辞典」をサブとして使用してくださいね。

*英検準1級こそ、「英英辞典」と「英単語・語句ノート」の最大活用が望まれます。英語の

Q6 : なるほど。「辞書」と「英単語・語句ノート」の活用ですね。そのほかにありますか。

A : (1)自分のレベルに応じた「英語の原書(すべてが英語だけで書かれた本)」を毎月1冊以上読み切ることも大切です。

(2)図書館や書店に行き、自分のレベルに応じた、これなら読めるかもしれないと思われる英語の原書を探して、毎月1冊以上を1か月かけて辞書をあまり引かないでとにかくゆっくと読む、できれば1冊読み終えることです。

(3)読むときはモゴモゴと小さな声を出しながら読むこと、音読もお勧めです。

(4)1回読み終えたら、小さな声で音読しながらもう1回ゆっくと読む。

(5)気に入った英語の単語や語句、文章があったら、「書き抜き読書ノート」に書き抜いておく。この「ノートの英語」も声を出して繰り返し読み、覚えてしまう。書き取り練習もして、何も見ないで書けるまでにする。

(6)英語で書かれた「新聞」を図書館や家で購買してもらい、毎日少しずつ読む。英検2級に合格したら読売新聞社発行の「The JAPAN News」を、英検準1級に合格したら「International New York Times (旧 International Herald Tribune)」に毎日1時間挑戦しましょう。どちらか1つは大学に入ってからでも社会に出てからも読み続けましょう。一生読み続け、英語力を磨き続けましょうね。気になる記事は切り抜き「スクラップブック」に貼り付けて保存、何回も音読、「書き取り練習」をする。図書館の新聞記事の切り抜きは禁止です。コピーをするか書き抜きましょう。

Q7 : 最後に一言どうぞ。

A : (1)英検は試験ですので、過去に出題された問題「過去問(かこもん)」は5年分以上を5回以上やり抜くことです。「リスニングのCD」は各級とも折に触れて100回以上聞くこと。聞きながら発音する(シャドウイング)練習も効果があります。

(2)「過去問」の問題本文とすべての設問は「辞書」を用いて意味を調べ、内容をよく「理解」した上で「音読練習」と「書き取り練習」をしてすべて確実に身に着ける・「定着」させること。

- (3) 「過去問」の「解答・解説」も同じように「辞書」で意味を調べ、よく「理解」できたものは「音読練習」と「書き取り練習」をした上ですべて確実に身に着ける・「定着」させること。「リスニング」と「面接試験カード」のテキストや「解答・解説」も、これと全く同様に、すみからすみまで正確に「理解」して「定着」を図ってくださいね。この気が遠くなるような作業をコツコツとやり抜くことが、短期間で英語力を大幅に上昇させる秘訣です。
- (4) 英検は今や入学試験そのものです。大学入試だけでなく、私立中学校入試や高校入試の内申書にも「英検〇級」と記入され、合格に大きく貢献します。また、英検を活用して英語のコミュニケーション能力を大いに高めましょう。
- (5) 学年末試験や高校入試が終了したら、開倫塾のすべての塾生は今年の6月8日(日)までの3か月半、約100日間、英検合格のための学習に全エネルギーを注ぎ込みましょう。
- (6) 現小6生(新中1生)は何が何でも英検5級(5級合格者は4級)を6月に取り、中学校での英語学習のよいスタートを切ることを目指してください。
- (7) 現中3生(新高1生)は何が何でも3級(3級合格者は準2級)を6月に取り、高校での英語学習のよいスタートを切ることを目指してください。
* 3級や準2級、2級の2次試験は7月6日(日)にあります。
- (8) 特に、現中2生(新中3生)は、塾生全員がこの6月に英検3級または4級に合格し、英語に強い高校入試受験生になることをお勧めします。2月下旬から6月初めまで3か月半、約100日間あれば、全員が英検3級または4級に合格できます。新中3生は、来年春の高校入試の受験勉強だと思って6月の英検に挑戦しましょう。
- (9) 高校生はまずは英検準2級、次に英検2級、最終的には英検準1級を目標に6月8日(日)の英検に挑戦してください。英検を活用して英語の学力を身に着けることが希望大学の入試合格に直結すると考えて、英検に大いに取り組んでくださいね。
- (10) 開倫塾は皆様の英検合格を全面的に応援します。しっかりとついてきてくださいね。

— 2014年2月12日記 —

(宇都宮大学大学院工学研究科 客員教授)

